

「明るく活気ある誰でも住みたくなるふるさとづくり」

第2期 [2023(令和5)年度～2027(令和9)年度]

まちづくりプラン

地域振興計画



草牟田二丁目「鹿児島神社」



玉里町「黒門」



城山団地「座禅石」



冷水町「水道発祥の地 記念碑」



新照院町「六月灯発祥の地」

草牟田地域まちづくり協議会

所在地 〒892-0813

鹿児島市城山二丁目3番1号(草牟田小学校内/校区公民館1F)

TEL・FAX 099(213)9182

E-mail somutamachi@gmail.com



提供：吉野兵六会

【目次】

I	私たちの校区	1
1	校区の概要	1
2	校区の人口推移	1
3	校区周辺の地図	2
II	「第1期まちづくりプラン」の振り返り	3
1	第1期の成果と課題	3
2	各部会事業の反省・評価	3
3	第1期の活動の記録	9
III	「第2期まちづくりプラン」	10
1	まちづくり協議会の活動方針	10
	(1) 計画の期間		
	(2) まちづくりの目標（スローガン）		
	(3) 運営方針		
	(4) まちづくり協議会組織		
2	活動の体系表	11
3	草牟田地域まちづくり事業計画	12
IV	資料		
1	第2期まちづくりプラン策定委員	16
2	アンケート集計結果	17

I 私たちの校区

1 校区の概要

鹿児島市の中央部（城西地域）国道3号線沿いに街並みが形成され、甲突川左岸に位置する。地域の北方には下伊敷、玉里団地、南方には城西、薬師、西方には永吉、原良、明和、東方には長田、照国がそれぞれ接している地域である。

国道3号線沿いに商店街が広がり、田んぼに住宅ができ、区画整理もなかったことから、迷路のような住宅街が広がる閑静なまちである。

学校関係では、草牟田小学校、鹿児島工業高校、鹿児島女子高校が地域内に設置されているほか、草牟田小学校の大多数が通う伊敷中学校が隣接している。

また、鹿児島神社、鹿児島県護国神社等が現存する文教・文化地域でもある。

2 校区の人口推移

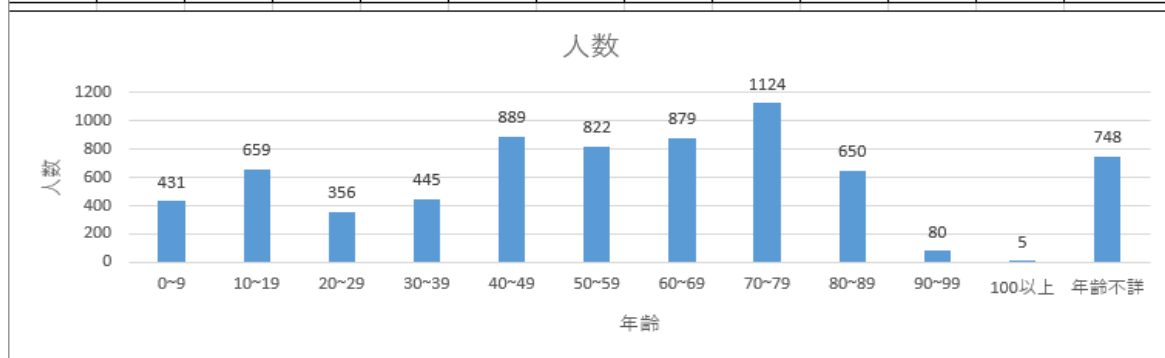
ア 世帯数・男女別人口推移（国勢調査より）

※ 各年度の10月1日調べ

年度	世帯数	人口		
		総数	男	女
平成17年	6,084	12,873	5,875	6,998
平成22年	6,063	12,677	5,764	6,913
平成27年	5,978	12,213	5,621	6,592
令和2年	5,827	11,771	5,447	6,324

イ 草牟田小学校区年齢（10歳階級）人口【令和2年国勢調査】 ※ 令和2年10月1日

年齢	0~9	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	90~99	100以上	年齢不詳
人数	431	659	356	445	889	822	879	1124	650	80	5	748



ウ 推計人口・世帯数（町丁別住民基本台帳）※令和4年4月1日現在

町丁名	世帯数	総数	65歳以上	高齢化率%
草牟田一丁目	990	1,778	465	26.2
草牟田二丁目	1,547	2,822	897	31.8
草牟田町	224	377	106	28.1
新照院町	1,136	1,763	553	31.4
城山一丁目	968	1,913	599	31.3
城山二丁目	646	1,333	456	34.2
玉里町	634	1,321	369	27.9
冷水町	564	1,047	350	33.4
総数	6,709	12,354	3,795	30.7

エ 町内会加入世帯数（現況届）

※令和4年4月1日現在

町内会名	加入世帯数
草牟田町内会	1,327
新照院町町内会	286
城山団地北部町内会	752
城山団地南部町内会	370
玉里町町内会	303
冷水町町内会	260
総数	3,298

3 校区周辺の地図



校区公民館 ①
(協議会事務局)



草牟田小学校 ②



伊敷中学校 ③



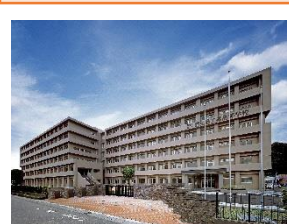
城西公民館 ④



鹿児島女子高等学校 ⑤



鹿児島工業高等学校 ⑥



II 「第1期まちづくりプラン」の振り返り（平成30年度～令和4年度）

1 第1期の成果と課題

〈まちづくりの目標：スローガン〉

「明るく活力ある誰でも住みたくなるふるさとづくり」

◆ 成 果

- まちづくりの各事業推進にあたって、多くの団体と地域の方々に参加のお手伝いをいただいた。
- 各種行事の開催に際し、多くの地域住民同志の連携や連帯意識が向上し、友情の輪が広がった。
- 「元気な挨拶」を行うことを青少年健全育成実行委員会で決めて、登下校の時や地域住民同志でも挨拶を交わすムードが醸成された。
- 広報誌「まちづくり協議会便り」の発行を通して、各部会の具体的な活動状況の様子を報告することができたことは有意義だった。
- 各団体主催（町内会等）の各種行事に、各団体の積極的な協力が相互に行われたことは、大きな成果となった。

◆ 課 題

- まちづくり協議会の役割と使命が、まだ地域住民に知られていないので、周知広報が必要である。
- まちづくり協議会の活動と成果がよくわからないとの声があったので、周知の工夫が必要である。
- まちづくり協議会を構成する各種団体の役員が参加者の中心となり、地域住民の参加が少ない行事もある。より多くの地域の方々が参加できるような魅力ある行事と周知広報を行うべきである。
- 子供たちの安心安全を守るのが一番であるが、青パトの再結成には至らなかった。

2 各部会事業の反省・評価

※ 評価基準 A：よくできた B：概ねできた C：できなかった

番号	事業名	実施部会等	評価	継改廃	成果・改善・感想等
1	協議会運営方針	総務部会	A	継続	定期的に総務部会を行い、運営方針を決めている。
2	協議会活動		B	継続	各部会長を中心に計画的に実施してきたが、後半はコロナの影響で、やむなく中止せざるを得ない活動もあった。
3	総務庶務事務		A	継続	事業実施に関する根回しや下準備を、事務局で計画的に行っている。
4	会計事務		A	継続	収支決算報告を毎年度行い、さらに、まちづくり協議会便りで公表している。

※ 評価基準 A：よくできた B：概ねできた C：できなかった

番号	事業名	実施部会等	評価	継改廃	成果・改善・感想等
5	各町内会連絡	総務部会	B	継続	5町内会連絡協議会を行い、お互い連携を取り合っているが、この2年はコロナ禍で集まらなかった。
6	各部会活動調整		A	継続	年4回まちづくり協議会を開催し、各所属団体からの活動状況を報告してもらっている。
7	広報紙発行		A	継続	まちづくり協議会便りを毎年11月に発行。各部会の活動状況を写真入りで紹介し、内容も充実している。
8	町内会加入促進		C	継続	各町内任せになっており、世帯数は若干減っている。
1	文化歴史伝統	まちづくり部会	A	継続	町内会やあいご会等の行事の際に、地域の文化や歴史について語り、伝統行事を継承している。
2	草牟田通り会朝市		A	継続	毎月第2日曜日に通り会朝市が開催され、地域住民との交流に一役買っていた。コロナ禍で朝市ができない時期も月2回の清掃活動や季節の花の植替えなどを行っている。
3	夏祭り		B	継続	各町内会において、余興や屋台などいろいろと考えて実施していた。提灯作り等をおして、高齢者と子供たちの交流も図れている。
4	十五夜		B	継続	各町内会において、綱引きや相撲等を実施している。
5	そば打ち体験		B	継続	3町内会で実施。世代に関係なく参加し、楽しく交流ができていた。そばの実の栽培から実施している町内会もある。
6	新照院六月灯		B	継続	六月灯発祥の地でもあることから神事に始まるが、手作りの提灯が迎えてくれる楽しい祭りとなっている。

※ 評価基準 A：よくできた B：概ねできた C：できなかった

番号	事業名	実施部会等	評価	継改廃	成果・改善・感想等
7	環境美化活動	まちづくり部会	A	継続	町内会ごとに、ゴミステーションの見回りや清掃等を実施している。
8	玉里蛍の里づくり		A	継続	毎年20頭前後のホタルを観察できている。幼虫の確保と飼育は難しいが、続けていきたい。
9	玉里薩摩和紙づくり		C	廃止	和紙の材料となる木の皮の入手が非常に困難なため、活動を断念することになった。
10	草牟田狂句		A	継続	兼題を決め、方言を駆使した狂句を作っている。(毎月第2水曜日実施)
11	草牟田菓子作り		B	継続	平成30年に「維新の銘菓 西郷どんの座禅石」を作った。今後も地域に根差した草牟田地域ならではの菓子作りに取り組む。
12	甲突川水辺の交流		C	廃止	予算がかかり過ぎることから実施できず。
1	スクールゾーン	安心安全 青少年健全 育成部会	B	継続	コロナ禍で街頭活動は減少したが、創意工夫して実施した。
2	環境点検診断		A	継続	各町内会は、独自に環境点検を行い、市役所等に陳情し、改善した。
3	夜間補導活動		A	継続	鹿児島神社、護国神社の六月灯で街頭補導を行った。
4	交通安全指導		A	継続	児童の朝夕の交通安全指導を毎日行った。また、各種団体も行った。
5	防災防火避難		A	継続	町内会ごとに防災避難訓練を実施した。
6	安心安全会議		A	継続	町内会ごとに安心安全会議を定期的実施した。

※ 評価基準 A：よくできた B：概ねできた C：できなかった

番号	事業名	実施部会等	評価	継改廃	成果・改善・感想等
7	犯罪未然防止	安心安全 青少年健全 育成部会	B	継続	犯罪未然防止活動は、地域の保護司会と町内会と連携し行った。
8	暴力追放大会		B	継続	コロナが発生するまでは、城西地区の住民、警察関係者などが参加し、パレードを実施した。
9	クリーン作戦		A	継続 まちづくりへ	市の活動日に合わせて、各町内会とあいご会・スポーツ少年団で実施した。
10	立志の集い		B	継続	2月の第2土曜日に草牟田小学校体育館で実施。コロナ禍で実施できなかった年度は、対象者に記念品を贈呈した。
11	城山歩こう会		A	継続	毎月1回、城山小鳥の森で実施した。
12	球技大会（小学生）		A	継続	ドッジボール大会を実施。コロナ禍では人数を制限して実施し、交流できた。
13	球技大会（中学生）		B	継続	コロナ禍では中止したが、それ以前はミニバレーを実施し、親睦を深めた。
14	あいご清掃活動		A	継続	あいご会清掃活動は、城山歩こう会と一緒に実施した。
15	青少年健全育成実行委員会		A	継続	対象団体が、年2回城西公民館や草牟田公民館に集まって、青少年育成について話し合った。
16	親子ふれあい活動		B	継続	コロナ禍で一部を中止したが、おやじの会主体で創意工夫し、楽しく活動できた。
17	補導活動	A	継続	各団体の会議や行事等で補導活動を行った。	
18	子どもとの対話	C	廃止	実施できなかった。	

※ 評価基準 A：よくできた B：概ねできた C：できなかった

番号	事業名	実施部会等	評価	継続	成果・改善・感想等
19	西郷どんの遠行	安心安全 青少年健全 育成部会	B	継続	参加者は少なかったが、実施した。
20	子ども神輿		B	継続	コロナ禍では中止したが、それ以前は、あいご部を中心に子供たちが元気に町内を練り歩いた。
21	おやじの会活動		A	継続	草牟田小学校運動会の緑門作りや、門松作りを行った。コロナ発生前は、キャンプ等を実施し、親睦を図っていた。
1	成人学級	社会教育 体育部会	A	継続	予定されていた計画に沿って、すべて行われた。参加人数も30名前後であった。
2	女性学級		A	継続	学級長を中心にまとまり、女性の生涯学習の中核となっている。
3	家庭教育学級		A	継続	草牟田小学校保護者による活動で、少人数ながら年8回の活動を楽しく実施できた。
4	歴史探訪会		A	継続	会長を中心に、継続的に行事が行われている。参加人数も増加傾向にある。
5	文化祭		A	継続	コロナ禍においては、中止や展示発表のみとなっていたが、バザーや舞台発表も活発に行われていた。
6	人権研修会		A	継続	城西公民館主催の年2回の研修会及び成人学級・女性学級でも年1回開催される。
7	文化講演会		B	継続	コロナ禍でも、創意工夫して開催した。
8	幼稚園との連携		C	継続	今まで、幼稚園との連携はできなかったが、今後は創意工夫して連携を図っていきたい。
9	グラウンドゴルフ大会		A	継続	各町内会を中心に、継続的に実施されており、今後も継続が見込まれる。

※ 評価基準 A：よくできた B：概ねできた C：できなかった

番号	事業名	実施部会等	評価	継改廃	成果・改善・感想等
10	破魔投げ	社会教育 体育部会	A	継続	コロナ禍で規模は縮小されたものの実施。伝統行事であり、今後も草牟田校区の伝統行事として存続したい。
11	ソントスポーツクラブ活動		A	継続	所属団体等の減少に伴い、団員数も減少しているが、今後も校区の子供たちにとって必要不可欠な団体である。
12	運動会		A	継続	コロナ禍で、縮小・中止となっているが、地域住民にレクリエーション・交流の場として残したい行事である。
13	研修旅行		A	継続	町内会においては殆ど実施されなかったが、各団体において実施されており、今後も会員の交流の場として残したい。
14	球技大会（大人）		A	継続	コロナ禍で中止になる以前は、ソフトバレーを実施し、交流を図った。
1	見守り活動	民生福祉 部会	A	継続	町内会や民生委員と協力し、子供たちの登下校や高齢者宅等へ声掛けなどを行うことができた。
2	子育てサロン		A	継続	校区社協が中心となり、子育て中の親子さんと民生委員・児童委員の協力のもと、楽しいひとときを過ごすことができた。
3	敬老会		A	継続	町内会ごとに工夫して開催された。
4	医療機関と連携		C	継続	実施できていないが、連携は必要と考える。
5	福祉施設と連携		C	継続	実施できていないが、草牟田地域にも福祉施設が増えているため、連携は必要である。
6	保育園と連携		C	継続	実施できていないが、子供の健全育成のためには連携が必要と考える。

3 第1期の活動の記録



総会後の部会



草牟田通り会「日曜朝市」



十五夜相撲



立志の集い（校長先生が歌でお祝い）



青少年健全育成実行委員会



西郷どんの遠行



破魔投げ大会



ランドルト環（遠方凝視用）

Ⅲ 「第2期まちづくりプラン」

1 まちづくり協議会の活動方針

(1) 計画の期間 2023（令和5）年度～2027（令和9）年度（5年間）

(2) まちづくりの目標（スローガン）

「明るく活力ある誰でも住みたくなるふるさとづくり」

(3) 運営方針

- ① 少子高齢化をはじめとする、草牟田地域における暮らしの諸課題の克服や福祉の向上に、地域住民が連帯意識をもってあらゆる活動に積極的に参加し、明るく活力ある誰でも住みたくなるふるさとづくりを推進する。
- ② まちづくりは人づくり。生涯学習を基本とする社会教育活動を通じて、心豊かな文化と精神を醸成し、ともに助け合い喜びを分かち合う共生社会の実現を推進する。
- ③ みんなで創る地域づくりを基本に、それぞれの部会がその役割を担い、積極的な活動を推進する。
- ④ 各種構成団体との連携強化を図り、情報の共有化と効率的な事業推進に努める。
- ⑤ 地域の課題や住民の意見が反映されたまちづくりプランを基に、自助・共助・公助による計画の実現を目指すとともに、関係行政機関との連携による活動の充実を図る。

(4) まちづくり協議会組織

	会 長	副会長	事務局長	
総 務 部	まちづくり部	安心安全・ 青少年健全育成部	社会教育・ 社会体育部	民生福祉部
部会長・副部会長 部員	部会長・副部会長 部員	部会長・副部会長 部員	部会長・副部会長 部員	部会長・副部会長 部員

【構成団体】

草牟田町内会	玉里町町内会	城山団地南部町内会	城山団地北部町内会	新照院町町内会
冷水町町内会	草牟田小学校校長	草牟田小学校教頭	草牟田小学校 PTA	草牟田小学校 おやじの会
草牟田小学校 家庭教育学級	伊敷中学校校長 (教頭)	伊敷中学校 生徒指導主任	伊敷中学校 PTA	草牟田校区 あいご会
草牟田校区あいご主事	スクールゾーン委員会	児童クラブ	草牟田幼稚園	城山保育園
草牟田校区成人学級	草牟田校区女性学級	校区社会福祉協議会	更生保護女性会	保護司会城西支部
草牟田校区 退職校長会	青少年健全育成 実行委員会	草牟田地区民生委員・ 児童委員協議会	鹿児島西地区 防犯連合会	鹿児島市 衛生組織連合会
わがまち探訪会	城西おはら会	そなた薩摩狂句会	破魔投げ保存会	蛍の里づくり
草牟田校区 スポーツ推進委員	ソント スポーツクラブ	草牟田校区 高齢者クラブ	お達者クラブ (町内会輪番)	女性部(婦人部) (町内会輪番)
草牟田通り会	草牟田郵便局	草牟田消防分団	植村病院	城山老人保健施設
法人会伊敷城山 支部広報委員会	鹿児島銀行 草牟田支店	草牟田地域 コミュニティー新聞		

2 活動の体系表

部会名	活動方針	主な活動内容
総務部	まちづくり協議会の運営及び活動方針並びに広報関係、会計、事務局総括、まちづくりプランの策定等に携わる。	運営・活動方針の検討 会計 総務及び事務総括 各町内会連絡調整
まちづくり部	住みやすい地域の環境づくりを基盤に、お互いの連帯意識に支えられた活力ある地域づくりのために地域課題を的確に捉え、諸事業の積極的な企画や取組を推進する。	環境美化活動 各町内会主催の行事等 文化、歴史、伝統継承 商店街活動 朝市
安心安全・ 青少年健全育成部	地域の安心安全確保のため、火災、地震、津波、風水害等の防災意識の普及や犯罪の未然防止活動、危険箇所点検等を通して、隣保相互（共助）精神の向上を目指すなど、防犯・防災活動の充実に努める。 また、次世代を担う青少年の「心と体」の健全な育成を図るため、家庭・学校・地域が一体となった活動を展開しながら、地域の教育力を高める。	安心安全ネットワーク会議 夜間指導活動、防火 地域危険箇所点検 災害時避難訓練 交通安全指導 スクールゾーン委員会 立志の集い、城山歩こう会、 清掃活動、親子ふれあい活動 青少年健全育成実行委員会 補導活動、
社会教育・ 社会体育部	明るく住みよいまちづくりのために、文化の継承・発展や生涯学習の推進に努め、社会の進歩に即応できる人づくりや学ぶ喜びを実感する生きがいづくり、地域課題解決に向けて、学習活動の推進に努める。 また、地域住民の健康、地域に根ざした伝統文化、破魔投げなどを通して、住民総参加の活力ある健康づくりを図る。	成人学級、女性学級、 家庭教育学級、 歴史探訪、 文化祭（作品展示等） 人権研修会 文化講演会 各町内会体育行事支援 破魔投げ ソントスポーツクラブ グラウンドゴルフ大会
民生福祉部	地域の課題である少子高齢化の進展に伴い、子育てへの支援や高齢者の支援に努め、思いやりのある、共に支え合う地域福祉社会の形成に努める。	近隣ネットワーク 子育てサロン 各町内会敬老会 ボランティア活動等 医療、福祉、介護等

3 草牟田地域のまちづくり事業計画

部 会 名	番 号	事 業 名	事業内容	事業のねらい	事業実施年間評価					継 続 新 規
					23	24	25	26	27	
総 務 部 会	1	協議会運営方針の策定	運営方針等を協議	協議会運営の方向付け						継続
	2	協議会活動の策定	協議会活動の内容を検討	協議会の活動方針に沿った活動の計画						継続
	3	総務庶務事務	総務庶務全般事務	事務局の総括						継続
	4	会計事務	会計事務	会計事務の総括						継続
	5	各町内会への連絡調整	各町内会行事等の連絡・調整	各町内会行事等の調整による円滑な運営						継続
	6	各部会活動の調整	各部会活動の調整	各部会活動の基本方針に沿った活動運営						継続
	7	広報紙発行	まちづくり便りの作成・配布	地域住民への協議会活動の報告及び周知						継続
	8	町内会加入促進	町内会加入促関係の情報提供や支援	地域住民参加のまちづくり協議会の活性化						継続
ま ち づ く り 部 会	1	文化歴史伝統の継承活動	文化・歴史・伝統等の継承活動の支援	関係団体への支援で文化・歴史・伝統の保護と継承						継続
	2	草牟田通り会朝市	朝市の賑わい活動への支援	通り会組織の強化と商店街の活性化による活気あるまちづくり						継続
	3	夏祭り	各町内会夏祭りへの支援	夏祭りによる地域の活性化						継続
	4	十五夜	各町内会十五夜への支援	季節の伝統行事の継承						継続
	5	そば打ち体験	各町内会そば打ち体験への支援	そば打ち体験による食育（食を学ぶ）の推進						継続
	6	新照院六月灯	六月灯への参加・協力	季節の伝統行事「六月灯」の継承						継続
	7	環境美化活動	ごみステーション等の環境美化活動	環境美化活動によるきれいなまちづくり						継続
	8	クリーン作戦	地域内の一斉清掃活動	地域住民が一体となったきれいなまちづくり						移動
	9	玉里蛍の里づくり	蛍の里づくりへの支援	自然体験活動をとおした郷土の環境づくり						継続

草牟田地域のまちづくり事業計画

部 会 名	番 号	事 業 名	事業内容	事業のねらい	事業実施年間評価					継続 新規
					23	24	25	26	27	
ま ち づ く り 部 会	10	草牟田狂句	有志による薩摩狂句の学習会	薩摩狂句作りによる鹿児島弁の継承活動						継続
	11	草牟田菓子作り	草牟田地域限定の菓子作り・販売・会合等での活用	草牟田地域由来のオリジナル菓子製作による地域の特色づくり						継続
	12	草牟田妖怪物語	自分が創りたい妖怪の作成と発表会の開催	(「大石兵六夢物語」の作者に因んで)、妖怪作成による特色あるまちづくり						新規
	13	彼岸花が咲くまちづくり	彼岸花を街角に植栽する	地域を花いっぱいのもちにする						新規
安 心 安 全 ・ 青 少 年 健 全 育 成 部 会	1	スクールゾーン委員会	危険箇所等の点検・改善策等協議	児童生徒の安心安全確保						継続
	2	環境点検診断	危険箇所の点検・改善策協議	安心安全なまちづくり						継続
	3	夜間補導活動	祭り等における補導活動	児童生徒の安全確保						継続
	4	交通安全指導	登下校時の立哨による交通安全指導	児童生徒の交通事故防止						継続
	5	防災防火訓練	各町内会における災害時の避難訓練	危機管理への共通理解と協働活動の推進						継続
	6	安心安全会議（ネットワーク会議）	危険箇所点検や危険事案の情報交換	安心安全に対する連携強化						継続
	7	犯罪未然防止活動	交番との情報共有及び連携	構成団体との連携による犯罪の未然防止						継続
	8	暴力追放大会	暴力団追放大会への参加	安心安全なまちづくりの促進						継続
	9	立志の集い	中学2年生を対象に、講話や夢を語る場等を設定	将来の夢を抱く気持ちの育成						継続
	10	城山歩こう会	あいご会で目的地を決めて歩く	子供たちの健康増進と異学年の交流						継続
	11	球技大会（小学生）	あいご会対抗のドッジボール大会	各あいご会の連帯感の高揚						継続

草牟田地域のまちづくり事業計画

部 会 名	番 号	事 業 名	事業内容	事業のねらい	事業実施年間評価					継続 新規
					23	24	25	26	27	
安 心 安 全 ・ 青 少 年 健 全 育 成 部 会	12	球技大会 (中学生)	あいご会対抗のソ フトバレー大会	地域の仲間同士の親睦						継続
	13	あいご清掃活動	あいご会による地 域の清掃活動	清掃活動による情操教 育(美化意識・郷土愛)						継続
	14	青少年健全育成 実行委員会	長期休業前の関係 者による青少年育 成に関する研修会	児童生徒への犯罪防止 と地域一体となって守 るという意識の高揚						継続
	15	親子ふれあい活動	対話を中心とした ふれあい活動	親子の絆づくり						継続
	16	補導活動	長期休業中等の繁 華街等での補導	児童生徒への犯罪防止 と安心安全確保						継続
	17	西郷どんの遠行	西郷ゆかりの地の 遠行と西郷の遺徳 の学習	自身の生き方・在り方 の振り返り						継続
	18	子ども神輿	夏祭りの際のあい ご会を中心とした 神輿の練り歩き	郷土の祭りの体験をと おした郷土のよさの気 づき						継続
	19	おやじの会活動	親父が企画・運営 する親子体験活動	親子体験活動による子 供の生きる力の育成						継続
社 会 教 育 ・ 社 会 体 育 部 会	1	成人学級	人権問題や消費者 教育等の講座を企 画・運営	生涯学び続ける機運・ 豊かな生活の構築・地 域貢献等への意識高揚						継続
	2	女性学級	人権問題や消費者 教育等の講座を企 画・運営	生涯学び続ける機運・ 豊かな生活の構築・地 域貢献等への意識高揚						継続
	3	家庭教育学級	基本的な生活習慣や 人権教育等の研修 を企画・運営	家庭教育に関する共通 課題についての学習に よる家庭の教育力向上						継続
	4	歴史探訪会	地域の遺跡巡りや 歴史について学習	地域の歴史を辿ること による郷土愛の涵養						継続
	5	地域公民館文化祭	城西公民館文化祭 の舞台発表・展示 発表に参加	地域公民館の発表や観 賞による他校区との文 化交流						継続
	6	人権研修会	城西公民館主催の 人権研修会に参加	人権意識の高揚						継続

草牟田地域のまちづくり事業計画

部 会 名	番 号	事 業 名	事業内容	事業のねらい	事業実施年間評価					継続 新規
					23	24	25	26	27	
社会 教育 ・ 社会 体育 部 会	7	文化講演会	城西公民館主催の文化講演会に参加	地域住民の文化意識の高揚						継続
	8	幼稚園との連携	幼児の健全育成を図る事業の企画・運営	地域全体で取り組む幼児の育成で、住みよいまちづくり						継続
	9	グラウンドゴルフ大会	地域内の同好会で大会を企画・運営	競技力の向上と健康増進及び地域住民の交流						継続
	10	破魔投げ	破魔投げ大会の企画・運営や支援	郷土の伝統行事「破魔投げ」の継承						継続
	11	ソントスポーツクラブ活動	子供から大人までスポーツを楽しむ	地域住民の健康維持・増進と交流促進						継続
	12	運動会及びレクリエーション	各町内会で運動会やレクリエーションを企画・運営	町内会住民の交流による連帯感の強化						継続
	13	研修旅行	町内会のバスを利用した研修	個人の資質向上と町内会住民の交流						継続
14	球技大会（大人）	ソフトバレー大会等の企画・運営	各あいご会の保護者同士の親睦						継続	
民生 福祉 部 会	1	見守り活動	各町内会での独居高齢者等の見守り活動	近隣での見守り活動による安心安全なまちづくり						継続
	2	子育てサロン	民生委員等による子育て悩み相談等	子育て支援による住みよいまちづくり						継続
	3	敬老会	各町内会での「敬老の日」のお祝い	高齢者を敬いお祝いする活動で住みよいまちづくり						継続
	4	医療関係と連携	各医療機関との連携による健康相談活動	地域における健康政策の充実・推進						継続
	5	福祉施設と連携	各福祉施設との連携による福祉事業の実施	高齢者の健康維持・促進と安心して暮らせるまちづくり						継続
	6	保育園と連携	幼児の健全育成を図る事業の企画・運営	地域全体で取り組む幼児の育成で、住みよいまちづくり						継続

IV 資料

1 第2期まちづくりプラン策定委員

(1) 計画期間

2023（令和5）年度 ～2027（令和9）年度

(2) 第2期まちづくりプラン策定委員

策定委員長 西 文一郎（まちづくり部会長）

策定委員 片平 孝市（まちづくり協議会長・総務部員）

大田 英雄（まちづくり協議会副会長・総務部会長）

満塩 末則（総務部副部会長）

山下 理（安心安全・青少年健全育成部会長・総務部員）

青手木良次（総務部員）

永田 智子（事務局長・総務部員）

小島美由紀（事務局員・総務部員）

※ 「第2期まちづくりプラン」策定にあたっては、策定委員が企画・編集等を行った。

※ 各部会・各構成団体は、主に「第1期まちづくりプラン」の評価・反省と「第2期まちづくりプラン」の事業計画について協議した。

(3) 令和4年度草牟田地域まちづくり協議会役員

	総務部会	まちづくり部会	安心安全・青少年健全育成部会	社会教育・社会体育部会	民生福祉部会
部会長	大田 英雄	西 文一郎	山下 理	祝 真一	有馬 悦子
副部会長	満塩 末則	眞榮田義夫	大藺 親史	平澤 潤子	森山 徹馬
部 員	片平 孝市	黒木 秀一	大重 満明	八塚史央合	山下 順也
〃	山下 理	北野 修	生駒 典子	黒木林太郎	鮫島 禮子
〃	青手木良次	岩坪恵美子	平澤 泰明	印南めぐみ	福島 明美
〃	永田 智子	隈本 浩一	日高 真琴	高山 達也	上堀 由紀
〃	小島美由紀		宇都口 拓	植益 弘志	小島美由紀
〃				本田 洋一	
〃				河瀬 雅之	
〃				福留高八州	
〃				久永 保	

2 アンケート集計結果

アンケート調査（意識調査）にご協力ありがとうございました。

第1期プラン策定時に実施したアンケートと同じ内容で調査しました。住民の皆様の意識に大きな違いは見られませんでした。この結果を、「第2期まちづくりプラン」の策定やまちづくり協議会の運営に生かしてまいります。

(1) アンケート回答者数

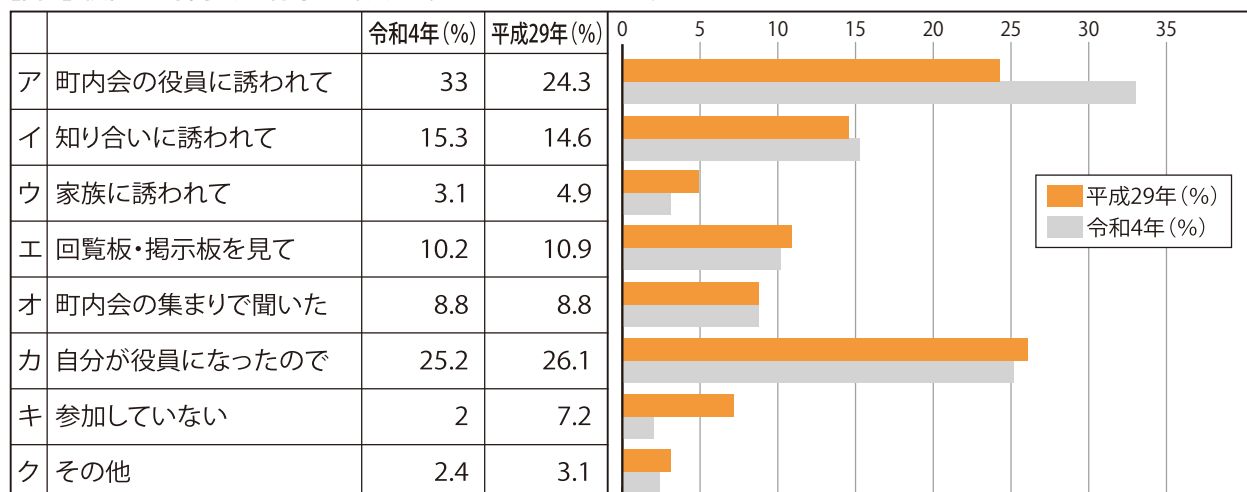
年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
回答者数	0人	2人	14人	30人	17人	23人	51人	29人	166人
割合	0%	1.2%	8.4%	18.1%	10.2%	13.9%	30.7%	17.5%	100%

○ 第2期アンケート回答者数は166人。第1期アンケート回答者数310人の約半数になったが、年代の割合は、ほぼ同じであった。

(2) 主なアンケート集計結果

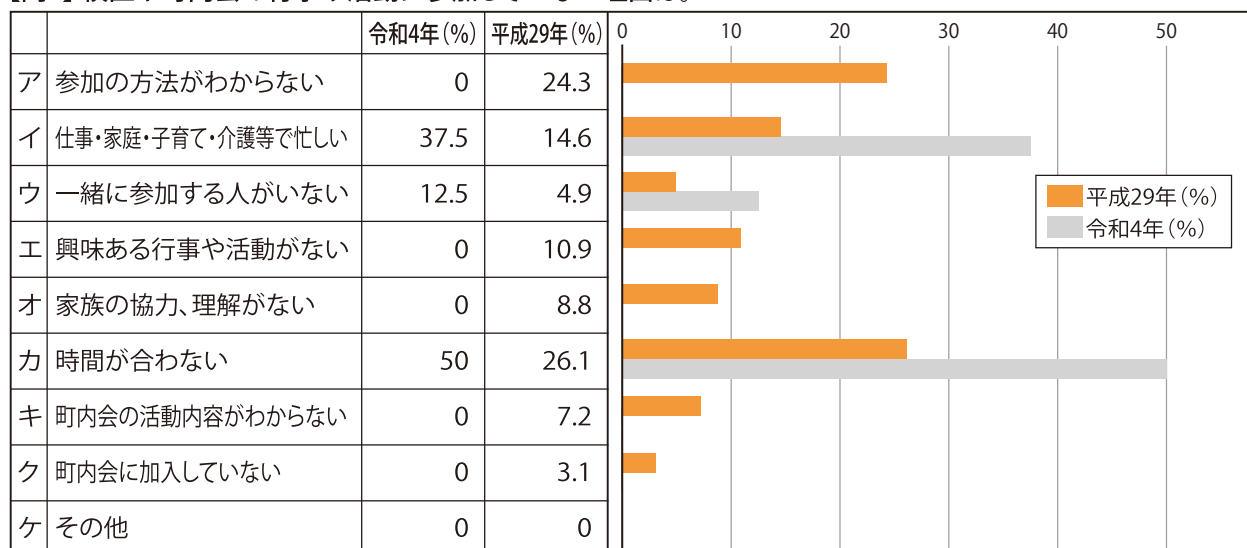
ア 校区の環境に関する質問

【問3】 校区や町内会の行事や活動に参加したきっかけは。



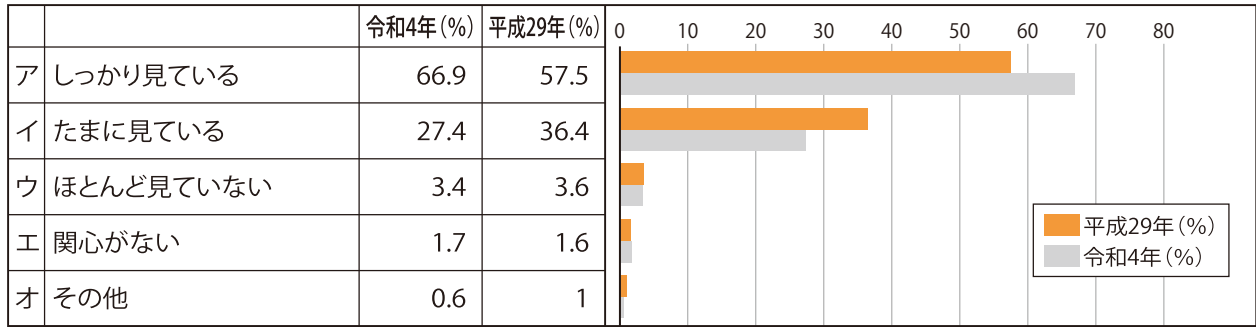
◆ 役員の声かけや参加者の誘いの声かけが、参加者増の手立てとして効果がある。

【問4】 校区や町内会の行事や活動に参加していない理由は。



◆ コロナ禍以前の理由であると考えられるが、今後も課題となることであり、行事の内容や実施期日・時間帯等の見直しが必要である。

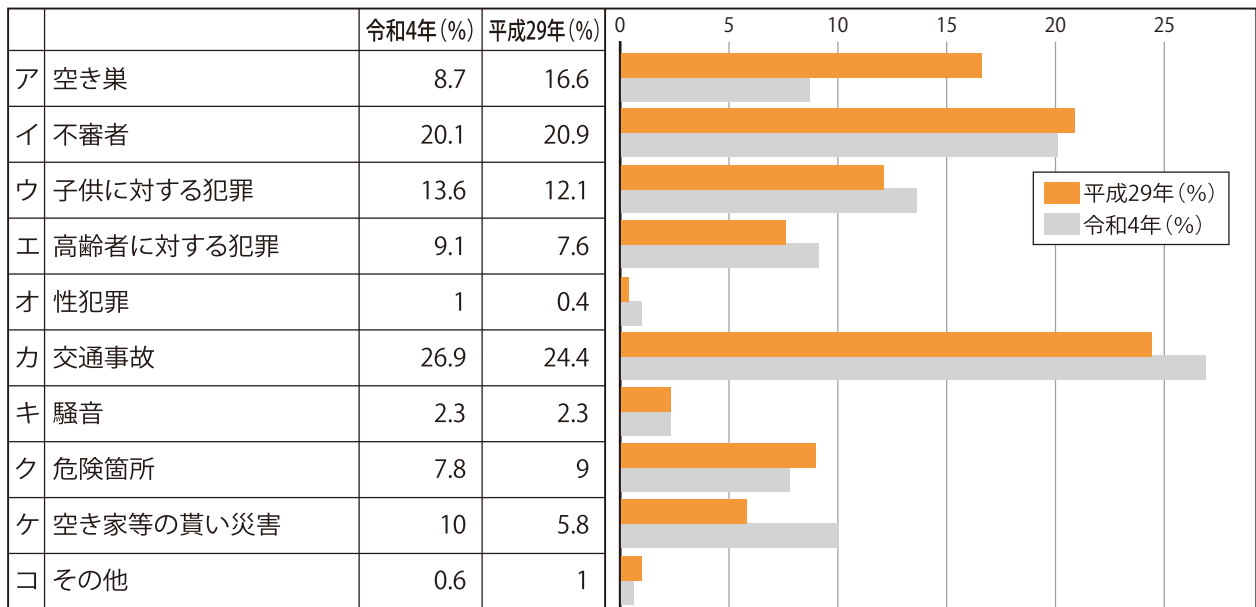
【問5】 広報紙や回覧板・掲示板を見えていますか？



◆ 「しっかり見ている」が増えていることから、協議会や町内会への関心が高まりつつあることがうかがえる。

イ 安心安全に関する質問

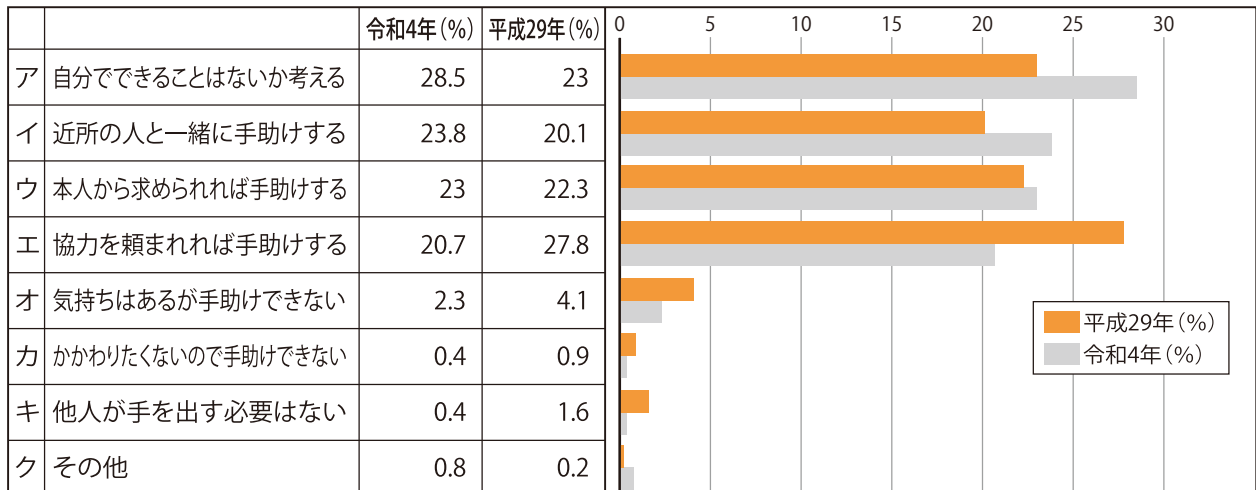
【問10】 安全面で日頃不安に思うことは。



◆ 安全面の不安として、空き家等の貰い災害の割合が増えている。高齢化が進む中、空き家対策も必要となる。

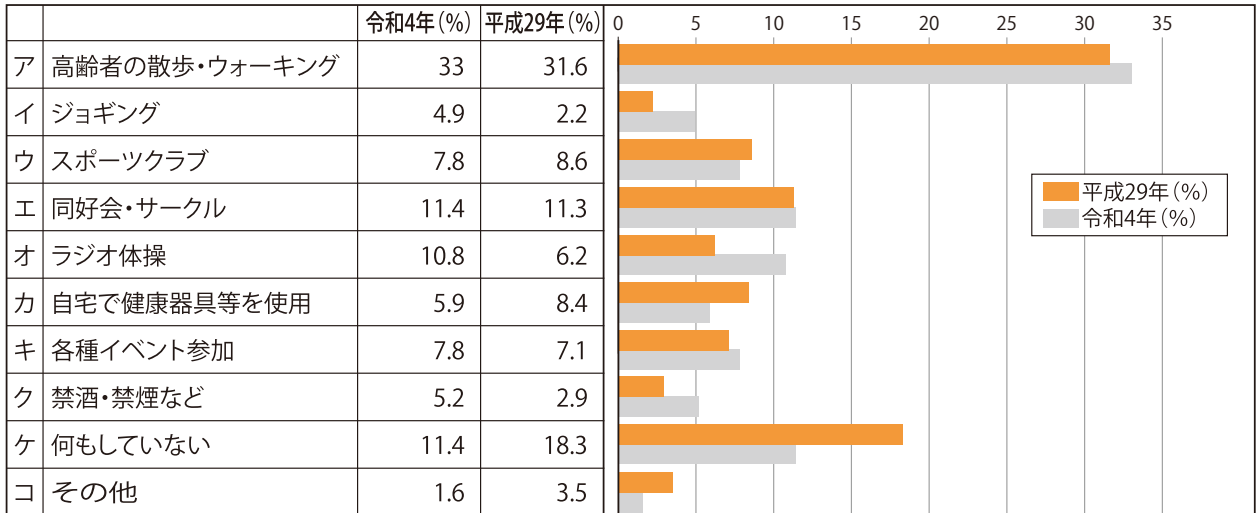
ウ 福祉に関する質問

【問13】 ご近所で高齢者や子ども、障害のある人、子育て等で手助けが必要な人がいたらどうするか。



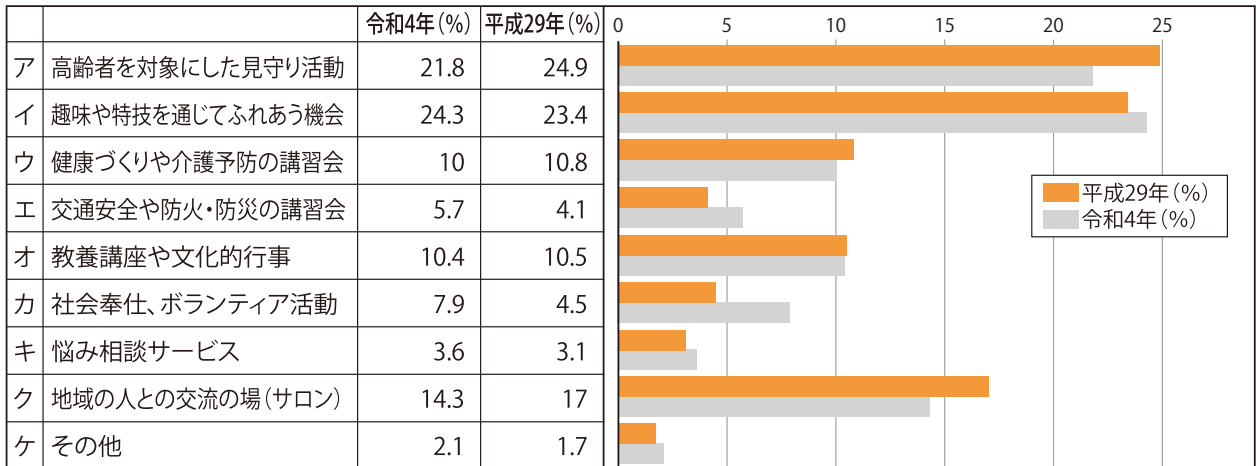
◆ 「自分でできることはないか」や「近所の人と一緒に手助けする」が微増。福祉への意識の高まりがみられる。

【問16】健康づくり、体力づくりのために日頃何かしているか。



◆ コロナ禍で運動に制限があったと思われる。今後は、講座等を開設し、まちぐるみの体力維持・増進を図っていく。

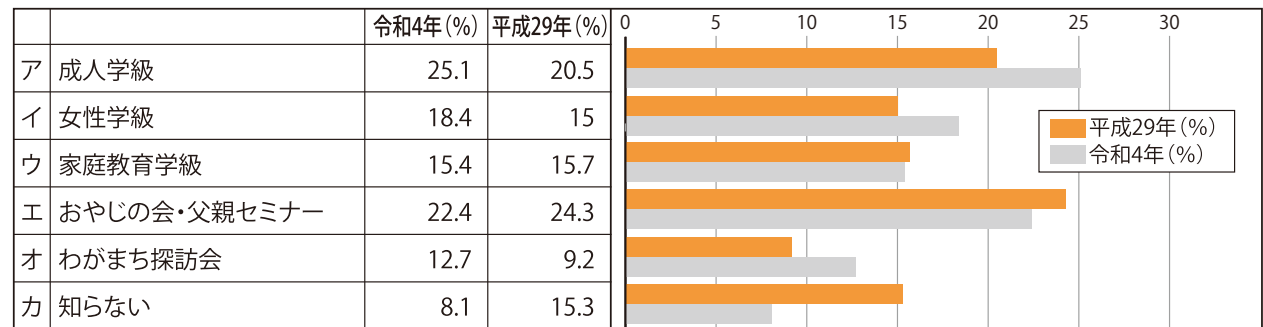
【問17】校区や町内会にあつたらいいなと思うものは。



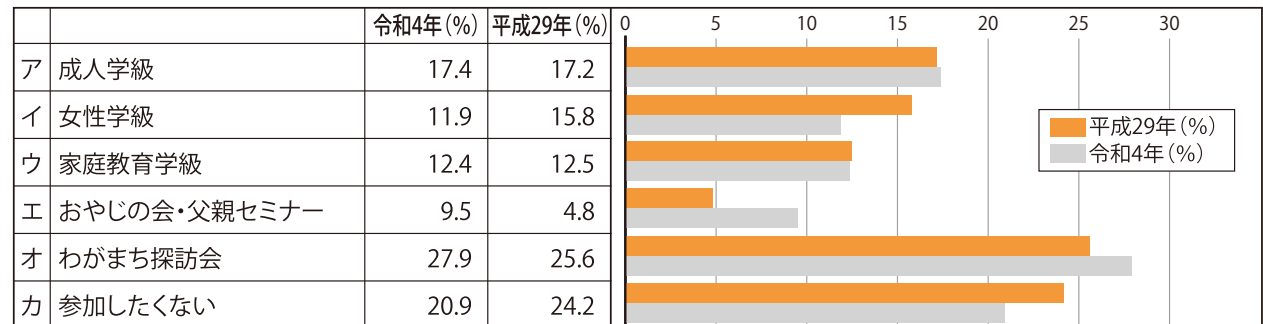
◆ 地域住民の交流の場を求める声は、依然として多い。地域貢献の意識の高まりも期待できる。

エ 社会教育に関する質問

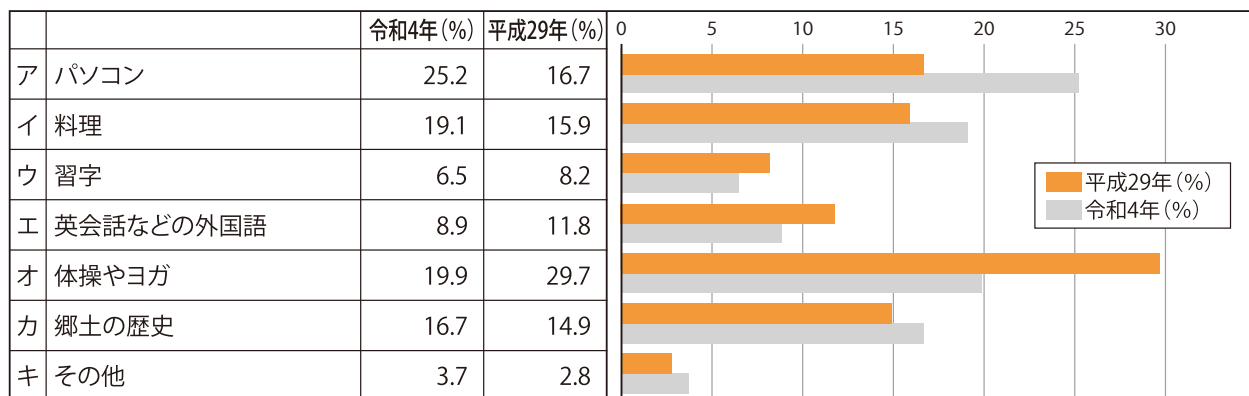
【問19】校区の社会学級で知っているものは。



【問20】社会学級の中で参加してみたいものは。



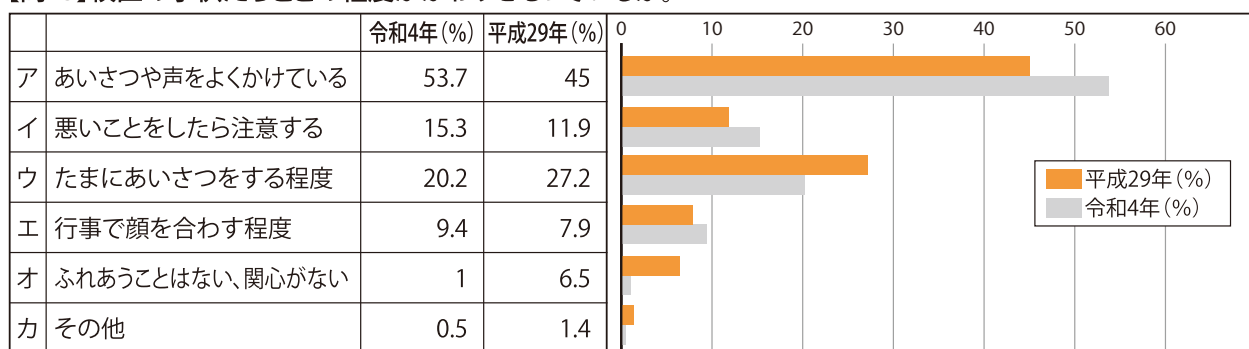
【問21】校区でどのような講座を開いてほしいか。



◆ 社会学級に参加したくない理由は、行事等に参加できない理由とほぼ同じではないかと推測される。ニーズの高いパソコン講座や父親に関する講座を企画し、社会学級への参加を促す。

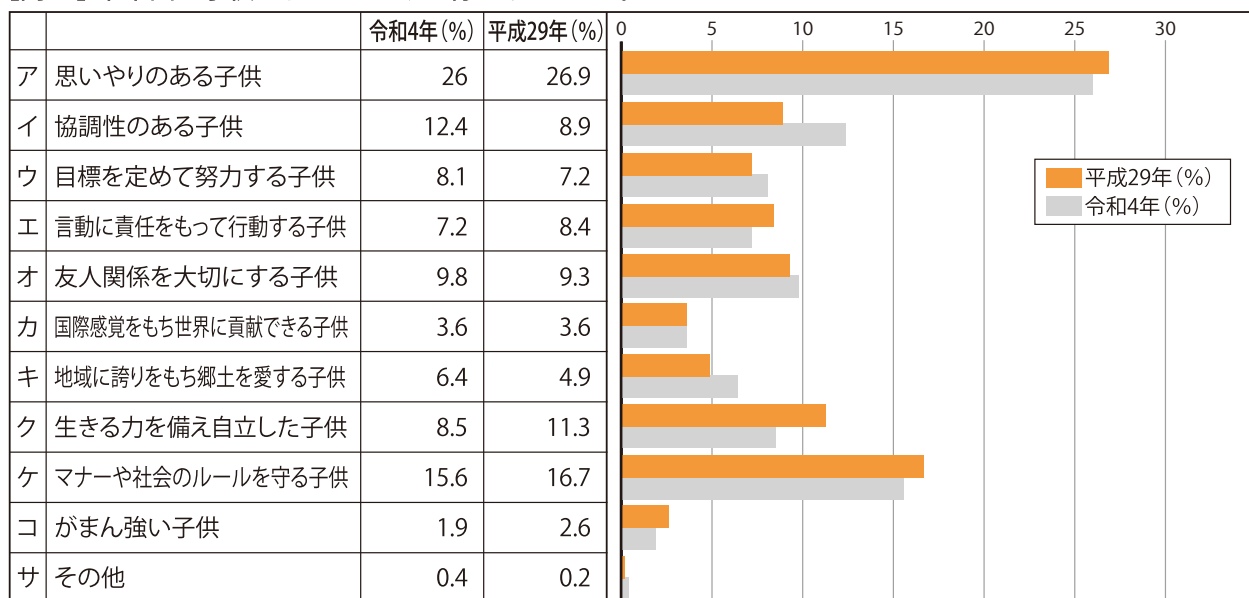
オ 青少年育成に関する質問

【問23】校区の子供たちとどの程度かかわりをもっているか。



◆ 子供たちとの関わりが増えると親しみがわき、地域の子供は地域で育てるという気運の高まりが期待できる。

【問28】草牟田の子供たちがどのように育ってほしいか。



◆ 「協調性のある子供」・「思いやりのある子供」を望む声が依然として多い。

カ 自由記述

自由記述では、「アンケート集計結果の分析方法」、「子供たちと地域の交流」、「自然と触れ合う体験活動」、「地域にある公共施設の設備」、「町内会未加入」、「SNSを使った情報提供」、「若い人のまちづくりへの関心」、「掲示板の複数設置」、「道路の補修」、「子供の育成」、「町内会の仕組み」等、多岐に渡っての意見があった。

